

■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

1 教育方針・目標の理解	2 意欲的な学校生活	3 教師の連携協力
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。	子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。	学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。
<p>【学校から】 95%近くの児童、保護者が「学校生活を楽しく送っている」と答えている点は評価できると考える。更に、「学校が楽しくない」と答えている児童が、昨年度6%から今年度1%に減少している点はうれしいところである。教職員の連携協力において教職員全員が「連携していると思う」と答えている点は、学校教育目標の達成に向け、組織として課題解決に取り組んでいる実践の表れであろう。教育方針・目標の理解については、保護者・児童へPTAの集まりの場や学校からの便り、授業公開の機会を利用しながら具体的に分かりやすく伝えていかなければならない。</p>		

4 授業づくりの工夫	5 意欲的な学習態度
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。
<p>【学校から】 昨年度に比べ、教職員の授業づくりの工夫の意識が大幅な伸びを示している。児童にとって分かる授業づくりを心がけ、教材研究を深めたり、校内研修や個人研修に意欲的に取り組んできたからだと思われる。このことが、意欲的な授業態度に関しても昨年度と比較すると保護者・児童・教職員のすべてにおいて評価が向上しているという結果につながっていると考えられる。</p>	

6 総合的な学習の時間の充実
子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。
<p>【学校から】 昨年度に比べ教職員の評価がやや高くなったのは、校内研究への取り組みの成果からだと思える。また、保護者へは児童の活動の様子や成果を機会があるごとに伝える必要があると思える。</p>

道徳教育 心の教育

7 道徳、心の教育の充実	8 あいさつ、礼儀の励行
学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に努めていると思いますか。	子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

【学校から】 今年度は、「道徳教育」に対する教職員の評価が伸びている。自主研発表に向けて、道徳的実践力をテーマに取り組んできたことによるものである。それに伴い児童の評価にも伸びが見られるが、保護者の評価には変化は見られない。授業公開や情報発信をし、取り組みの様子や成果を伝えていくようにしたい。「あいさつ、礼儀の励行」では、保護者と教職員の評価に開きがある。教職員と保護者の児童を評価する場面に違いがあるためと思われる。家庭、地域と連携し、実生活の中で、道徳的態度が育つ地盤づくりを推進していく必要がある。自主的・主体的なあいさつや礼儀作法のできる児童の育成を目指す取り組みを、継続・発展させていきたい。

人権教育

9 一人一人の生徒の尊重	10 友だちへの思いやり
学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていると思いますか。	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。
<p>【学校から】 「児童の自尊感情を高め、豊かな人間関係をめざす」という本年度の授業実践の取り組みが、ある程度の評価を得ることができた。だが、人を思いやる気持ちを日常生活の中で出していくことの難しさ、さらに、児童又は保護者への指導・対応の面で、十分な理解が図れず不信感を抱かせてしまっている。このことを反省し、今後も真摯に丁寧な関係づくりに努めていく必要がある。</p>	

11 学校の支援体制
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。
<p>【学校から】 本年度は、支援の必要な児童についてケース会議を4回実施したこと、校内支援体制の充実などから、教職員の評価は、昨年度より上がった。保護者の評価もわずかながら上がっている。今後さらに支援体制を推し進め、保護者への広報、連携をさらに進めていきたい。</p>

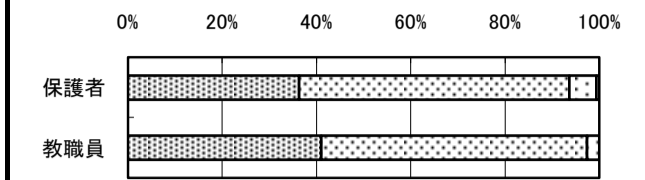
生徒指導 教育相談

12 生徒理解	13 規範意識	14 いじめや問題への対応
先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。	子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。
<p>○生徒理解について、保護者・児童ともに厳しい評価をしている所がある。さらに、子どもたちのよさを認め、伸ばすとりくみが求められる。○規範意識について、教職員と保護者・児童の評価には、大きな差がある。日常の学校生活での課題を正確に伝え、解決する努力を学校全体で進める必要がある。○いじめや問題への対応について、教職員の努力や学校の取り組みが保護者に伝わっていない。機会をとらえ、全職員でいじめに取り組んでいることをアピールする必要がある。</p>		

## 健康教育 安全

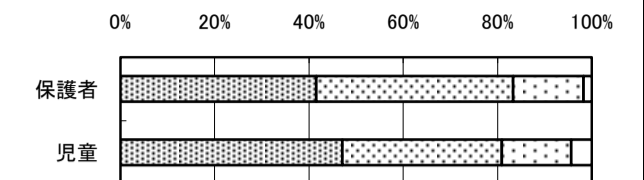
### 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



### 16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

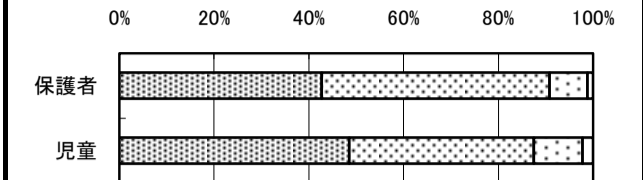


【学校から】交通事故防止のため、日頃から安全指導を行っているが、児童の安全意識、危機回避能力を高めるための指導を、今後も継続して行っていきたい。今年度から自転車ヘルメット着用を義務化している。今後も、自転車の安全な乗り方について、家庭と連携した取り組みを行いたい。安全管理面では、年に3回、火災、地震、不審者対応の避難訓練を行っている。授業中以外でも、子どもたちが自分たちで避難できるような、判断力を高めるような指導を行っていく必要がある。

## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

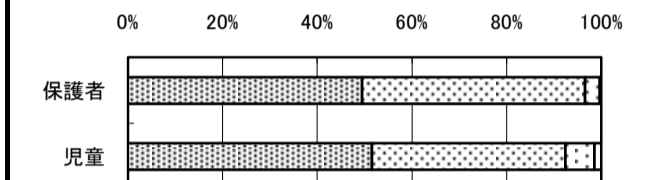


【学校から】学校行事については、保護者や地域の方々の参加も多く、その関心の高さを感じる。運動会・音楽会・各種学年行事・授業参観にも、子どもたちの生き生きした活動の姿を期待し参加されるので、さらに内容の見直しや広報の仕方を工夫していきたい。

## 学校環境

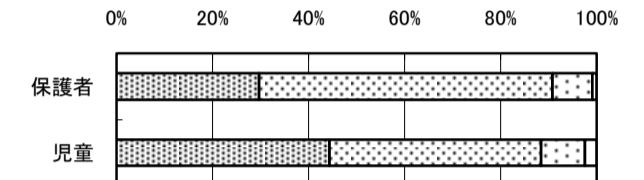
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

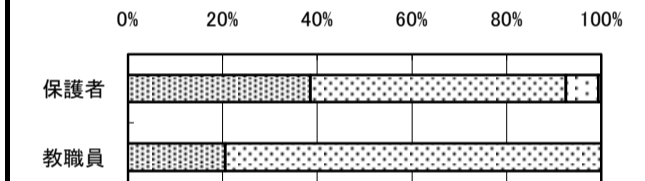


【学校から】児童の委員会活動、各学年、さらに学校職員で校舎内外の整理・美化に努めていることもあって、整理がなされているという評価を受けることができた。しかしながらまだまだ十分ではない点があるのも事実である。今後とも、保護者や児童の気付きも参考としながら、手立てを考え、学校環境の適正化に向けて努力していきたい。

## 情報の公開・発信

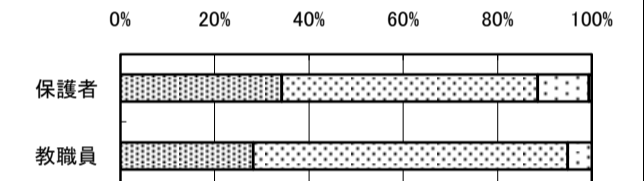
### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

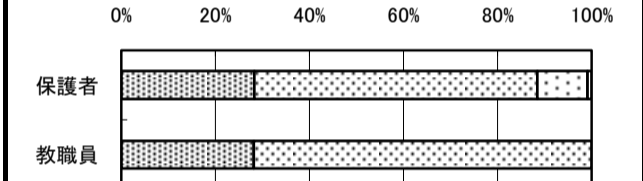


【学校から】学校ホームページを定期的に更新するとともに、トップページに各行事実施後、すぐにスライドショーを発信することができた。また、緊急の連絡などでは、新しい情報が迅速に帯山安心メールを活用することによって、発信することができ、保護者も安心されたようだ。

## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

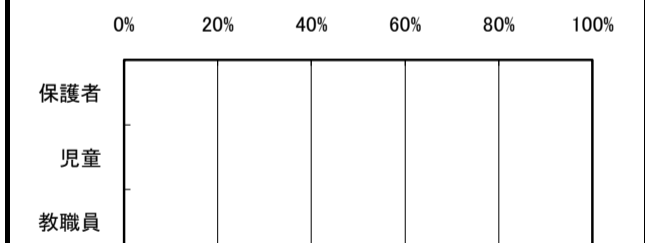


【学校から】学年、学級で種々の体験活動を家庭や地域社会との連携のもと進めてきた結果が出ている。学校になかなか足を運ばれない保護者の方々とつながり方を考えながら教育活動への理解を少しずつ高めていきたい。

## (学校独自)

### 23 0

0

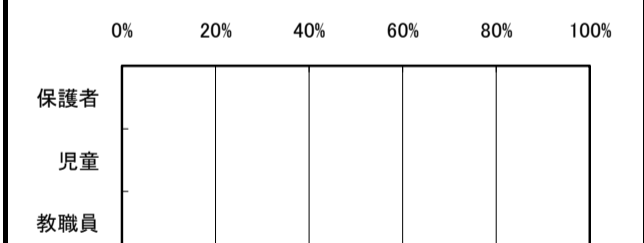


【学校から】

## (学校独自)

### 24 0

0

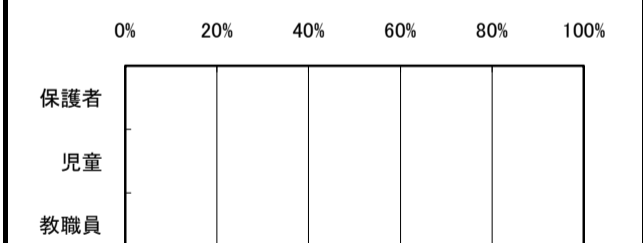


【学校から】

## (学校独自)

### 25 0

0



【学校から】

## 来年度の具体的な取り組みについて

- あいさつや礼儀、言葉づかいといった生活習慣と集団生活での規範意識、これらを心の教育の充実と関連させていく指導を発展させていく。そのためには、地域やPTAとの連携した活動の充実を図っていく。
- 「人とのかかわりを通して、自己肯定感を高める」という本年度研究の成果を大切に、更に充実した体験活動ができる環境づくりを推進していく。
- 教職員一人一人が、「分かる授業」づくりに向けて研鑽を重ねるとともに、特別な支援が必要である児童に対して学校組織で対応できる体制を構築する。

## 学校関係者評価

- 自主研究発表会での先生方の指導と子どもの真剣な学習姿勢をみて、帯山小の教育の充実を感じた。心の教育に焦点を当てた取り組みをすばらしいと考える。是非、継続・発展させて欲しい。
- 地域に向けたボランティア活動や先生方の地域行事参加が今年度数多く見られた。学校が積極的に地域と連携を図ろうとしているのが良く分かる。教育活動に必要な事柄は何でも地域に相談して欲しい。
- 体力向上に向けた具体的な取り組みを来年度第1回目の評議委員会で知らせて欲しい。体育科の授業が第一だと思うが、家庭や地域の協力が必要な部